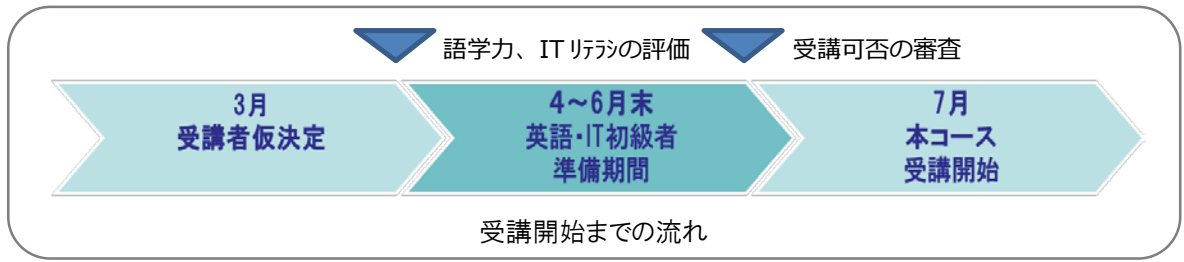


平成 29 年度「JOC 国際人養成アカデミー (JISLA)」開催要項

1. 趣 旨 標記アカデミーは、競技力向上につながる組織、人、財政などにおける「国際力」の強化を見据え、将来 JOC や JOC 加盟競技団体を代表し、国際スポーツ組織等の政策決定過程に関与できる人材、あるいは国際的な折衝において活躍できる人材の育成を目的とする。
2. 事業名 JOC 国際人養成アカデミー (JISLA : JOC International Sports Leader Academy)
3. 主催 公益財団法人日本オリンピック委員会
4. 後援 スポーツ庁
5. 受講者 (1) JOC、JOC 加盟競技団体から推薦される下記の者
 ① 将来 JOC/NF を代表し IOC、IF/AF 等の国際スポーツ組織における役員や専門委員会委員 (例：審判、競技ルール、医事、コーチング、マーケティング等)、または国際競技大会のスポーツディレクター等として、その団体や組織の政策決定過程における活躍が期待できる者
 ② JOC/JOC 加盟団体の国際的な実務関係者あるいは今後その可能性のある者。
 (2) その他 JOC が認めた者
 ※ 英語による講義に参加し理解できる程度の基礎的語学力を有する者が、本コースを受講することができる。
6. 受講定員 新規受講者を 30 名程度とする。
7. 受講料 10 万円 (税込。宿泊費含む/交通費は含まない)
 ※ マナー・プロトコル実習に関する材料費を別途徴収する。
8. 実施方法 (1) 期間 平成 29 年 7 月 14 日 (金) ~ 11 月 11 日 (日)
 ① 7 月 14~16 日、② 7 月 21~23 日、③ 8 月 4~6 日、④ 9 月 1~3 日、
 ⑤ 9 月 29~10 月 1 日、⑥ 10 月 13~10 月 15 日、⑦ 10 月 27~29 日、⑧ 11 月 10~12 日の全 8 週間。修了者を対象にフォローアップ研修を 3 月に開催する。
 ※ 各週とも原則金曜は 19 時開始、土曜は終日、日曜は午後終了を予定。
 ※ 3 月に暫定受講者決定後、6 月末までを受講準備期間とする (詳細は裏面参照)
 (2) 場所 味の素ナショナルトレーニングセンター 他
 (3) 宿泊 講習期間中は、味の素ナショナルトレーニングセンターもしくは国立スポーツ科学センターでの宿泊を原則とする。
 (4) その他 受講開始年度内に全課程修了することを原則とする。
9. カリキュラム (予定) とその狙い

[A] 日本のスポーツリーダーとして持つべき知識 (9 コマ)
諸外国と情報交換する上で必要な日本のスポーツ/スポーツ組織に関する知見を広げる ・日本のスポーツ/日本のスポーツ組織 ・日本のスポーツ政策の現状と今後
[B] 国際スポーツリーダーとして持つべき知識 (12 コマ)
国際戦略を立てる上で不可欠な、国際スポーツ/スポーツ組織に関する知見を広げる ・国際スポーツ組織 ・IF、AF における選挙の実情 ・国際スポーツ分野におけるキャリア
[C] 国際交流の基礎 (6 コマ)
国際的な交流を持つ上で必要となる、スキル・マナーについて学ぶ ・異文化理解 ・マナー/プロトコル ・
[D] 国際コミュニケーション実習 (41 コマ)
国際スポーツの現場で必要となるコミュニケーション方法について、英語にてアクティブに学ぶ ・アサーティブコミュニケーション ・プレゼンテーション ・ネゴシエーション
[E] 国際スポーツリーダーとして持つべきスキル、コンピテンシー (12 コマ)
国際スポーツリーダーに必要な思考法、行動特性、スキルについてアクティブに学ぶ ・論理的思考 ・批判的思考 ・組織行動とリーダーシップ
[F] アセスメント (修了試験)
講義終了後のレポート課題に加え、修了予定年度に上記 A, B, C, E の講義に関する口頭試験を実施する。D の講義は授業全体を通して評価し、英文レポート点等を加えた合計点にて修了判定を行う。

10. 準備期間 3月に暫定受講者が決定されたあと、7月に本コースが開始するまでの期間は、受講に必要な「語学力」「ITリテラシ」を自己学習するための準備期間とする。この期間内に基準の能力に達しない場合、本コースの受講は翌年度以降、基準に達してから認められる。



11. 受講者、受講推薦者に理解いただきたいこと

国際人養成アカデミーは「国際的な折衝において活躍できる人材」などの育成を目指すものであるので、「英語によるプレゼンテーションや交渉」などの講義を提供している。

したがって、基礎的な英語によるコミュニケーション力を身に着けていることが、育成目標に対して効果的な学びを得るための前提となる。受講生の推薦にあたっては十分にご配慮いただきたい。

12. どのような方に受講していただきたいか

NF事務局の方々にはこれまで数多く受講いただいております、引き続き活用いただきたい。

また、近年は

- ・NFの外に職業を持ちながらNFの国際業務を担当される方
- ・NFの外に職業を持ちながらNFを代表してAF、IFの理事・委員・審判を務める方や、それを目指す方

の受講も増えている。例えば企業に勤務され国際関係業務のご経験をお持ちの方にAF、IFの業務を任せる例や、選手として活躍された方に豊富な海外経験を活かしてAF、IFの業務を任せる例である。そのように幅広く人材を求め計画的に育成することで、NFの国際戦略を進めることもお勧めし、本アカデミーをそのために活用いただきたい。

13. 説明会等日程

受講申し込み以降、以下の日程で説明会、アセスメント等が予定されている

3月17日(金) 第1回 受講者説明会 19:00～	味の素ナショナルトレーニングセンター
受講希望者を対象に受講までのスケジュール、語学力アセスメントや準備期間に実施される講習、本コースを受講するための審査基準等について説明する。	
4月1日(土) 第1回 語学力アセスメント	味の素ナショナルトレーニングセンターほか
評価者と対面式のアセスメントを実施し、受講者の語学力を具体的に評価する	
4月中旬～6月中旬 準備コース	味の素ナショナルトレーニングセンターほか
第1回語学力アセスメントの結果に基づき、基礎的な語学の講習や語学力向上のための勉強法についての講習を必要に応じて実施する。4回程度実施予定。	
6月中旬から下旬 第2回 語学力アセスメント (第1回アセスメントで基準見達者のみ)	
評価者が電話にてアセスメントを実施し、本コースの受講可否を判断する	
6月30日(金) 第2回 受講者説明会 19:00～	味の素ナショナルトレーニングセンター
受講決定者へ教材を配布し、受講に際しての注意点を説明する	

以上

本件に関する問い合わせ先

(公財) 日本オリンピック委員会 国際部 担当 相馬・岩本

Tel:03-3481-2286 Email:h-soma@joc.or.jp (相馬) a-iwamoto@joc.or.jp (岩本)

平成29年度「JOC国際人養成アカデミー」 別添3
受講者調書

平成 年 月 日現在

競技団体名			
フリガナ		生年月日 (年齢)	年 (昭和・平成 年) 月 日生まれ (歳)
氏名		性別	(男 ・ 女)
		最終学歴	
国籍			年 (昭和・平成 年) 月 卒業・修了
競技団体 役職	(NFにおける役職) (IF/AF等での役職)		
フリガナ			
現住所	〒		
	電話		最寄駅 線 駅
	携帯		
	E-Mail		
勤務先	名称		所属 (組織・部署)
	住所	〒	
	電話		最寄駅 線 駅
	E-Mail		
※郵送物送付先・連絡先： 現住所 勤務先 ※○で囲んでください			
JOCから委嘱されている 強化スタッフのカテゴリー			
競技暦 (主な成績など)			
競技関連資格 (取得年月も記載)			
英語力を示す資格など (取得年月も記載)			
英語以外の言語力			
IT環境・リテラシ	受講のために利用できる パソコンを所有している	はい・いいえ	PowerpointまたはKeynoteで プレゼンを作成できる
その他の資格 特記すべき能力など			

※裏面もご記入ください。

◇主な経歴（現在に至るまでの簡単な経歴）

期 間			所属名(学校・団体等)	主な競技成績・記録、活動内容等
年	～	年(西暦)		
<職歴>				
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
<スポーツにかかわる経歴>（競技歴/指導歴/審判歴/国際大会役員歴など）				
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
<学歴>（高校以上）				
	～			
	～			
	～			
	～			
◇本アカデミー受講理由（本人が記入すること）				
◇本アカデミー受講により達成したい目標（IF/AFポジション獲得など。）				
目標				
達成予定期日				
◇競技団体推薦理由				
			記入者(役職) :	()